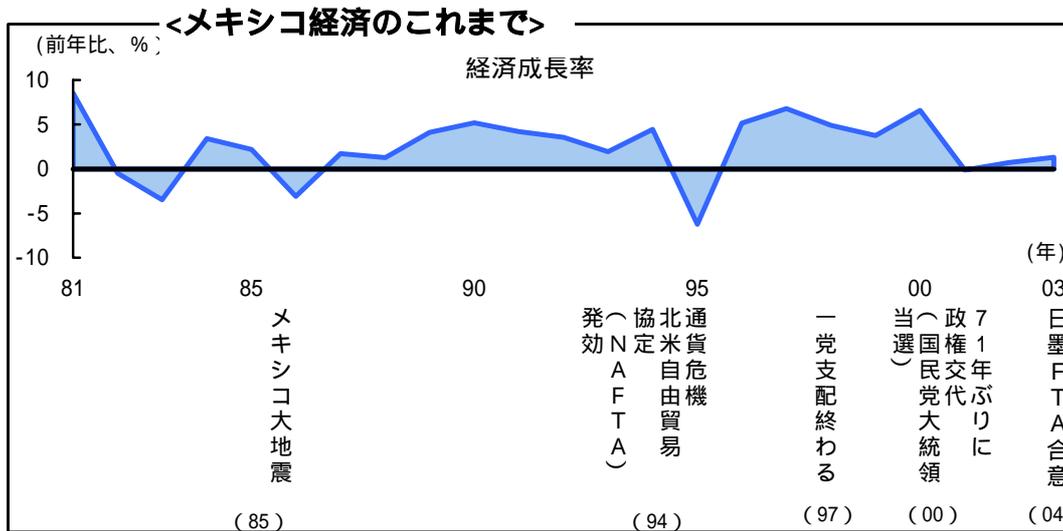


<2003年>

人口 1億320万人(2002年)  
(日本の約3/4)  
一人当たりGDP 6,187ドル  
産業構造(GDP構成比) 1次産業 5.6%  
2次産業 24.4%  
3次産業 70.0%

財政会計年度 1月～12月  
為替制度 変動相場制  
通貨 ペソ  
1米ドル=11.2ペソ  
面積 196.4万km<sup>2</sup> (日本の約5倍)



メキシコの主要経済指標

		92～01年	2002年	2003年	2004年			
					政府	OECD	IMF	民間機関
実質GDP	前年比%	3.5	0.7	1.3	3.1	3.6	3.3	実質GDP
鉱工業生産	同上	4.1	0.3	0.8	-	-	-	平均 3.3
消費者物価	同上	17.6	5.0	4.5	3.0	3.4	4.3	最大 4.2
失業率	%	3.6	2.7	3.2	-	3.0	-	最小 2.5
経常収支	億米ドル	152	140	57	21.5	-	131.3	(25社)
(GDP比)	%	( 3.6)	( 2.2)	( 0.9)	( 0.3)	( 2.5)	( 2.0)	
財政収支	億米ドル	16.0	39.0	39.3	21.5	-	-	
(GDP比、年度)	%	( 0.4)	( 0.6)	( 0.6)	( 0.3)	-	-	
政府債務残高	億米ドル	445	940	828	-	-	-	
(GDP比、年度末)	%	( 10.6)	( 14.7)	( 13.1)	-	-	-	

- (備考) 1. メキシコ銀行、メキシコ地理情報統計院、IMF “International Financial Statistics”。  
見通しの政府はメキシコ財務省 “Economic Policy Guidelines for 2004”(2003年11月)等、  
OECDは “Economic Outlook”(2003年11月)、IMFは “World Economic Outlook”(2004年4月)。  
2. 財政収支は、一般政府。2002年は、農業開発銀行 (Banrural)解散の影響を除いたもの。  
3. 政府見通しの消費者物価は、12月の前年同月比。

<2003～2004年の経済>

2003年は、輸出の伸び悩みや設備投資の低迷等により経済成長率は伸び悩み、1.3%となった。しかし、緊縮財政スタンスが維持されていることなどによりインフレ率は3年連続で政策目標を達成し、これが金利低下につながり経済を安定させている。さらに、10～12月期には、アメリカの景気回復等を受けて、輸出及び生産は増加に転じている。

2004年は、アメリカの景気回復等を要因として順調な景気回復が期待され、3%程度の成長が見込まれている。(政府見通し3.1%、民間機関25社の平均3.3%(2004年4月時点))